

再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

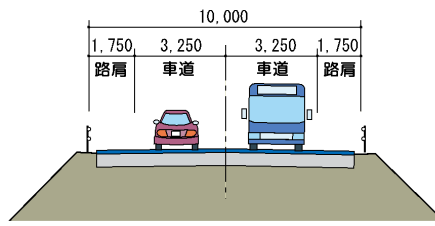
担当課：道路局 環境安全・防災課
担当課長名：伊藤 高

事業名：空港・港湾等アクセス 主要地方道長崎南環状線 （新戸町～江川町工区）	事業区分：地方道	事業主体：長崎県	
起終点：自：長崎県長崎市上戸町四丁目 至：長崎県長崎市江川町		延長：5.2km	
事業概要 主要地方道長崎南環状線は、国道499号の渋滞緩和、長崎南部地域と県央、県北部及び県外との交通連携強化、産業・経済活性化、防災機能などを目的とした、広域ネットワークを形成する路線である。 当路線の整備により、並行する国道499号の渋滞緩和を図るとともに、長崎港と長崎ICの連携による物流の効率化に伴い、生産性の向上が期待できる。			
H28年度事業化	H27年度都市計画変更	H30年度用地着手	
全体事業費：250億円	事業進捗率：34%	供用済延長：— km	
計画交通量：12,100台/日（R22）			
費用対効果分析結果 B/C （事業全体）1.8 （残事業）2.9	総費用 （残事業）/（事業全体） 136/218億円 事業費：135/217億円 維持管理費：1.0/1.0億円	総便益 （残事業）/（事業全体） 399/399億円 走行時間短縮便益：373/373億円 走行経費減少便益：23/23億円 交通事故減少便益：2.7/2.7億円	基準年 令和4年
感度分析の結果 （事業全体）交通量：B/C=1.7～2.0（交通量±10%） 事業費：B/C=1.7～2.0（事業費±10%） 事業期間：B/C=1.7～1.9（事業期間±20%）			
（残事業）交通量：B/C=2.7～3.2（交通量±10%） 事業費：B/C=2.6～3.4（事業費±10%） 事業期間：B/C=2.7～3.1（事業期間±20%）			
事業の効果等 ・交通渋滞の緩和（国道499号の慢性的な交通渋滞の緩和による、通勤通学、経済活動、救急搬送の向上） ・安全性の向上（国道499号の交通の集中緩和による、交通事故の危険性の軽減、安全な交通の確保） ・生産性の向上（長崎港へのアクセス強化による、物流の効率化、生産性の向上） ・地域振興（長崎自動車道、ながさき出島道路との直結による、産業振興、観光客の増加）			
関係する地方公共団体等の意見 ・都市計画決定の手続きにおいて、周辺住民と合意形成を図っている ・「長崎市」より整備促進の要望が行われている。			
事業評価監視委員会の意見 事業継続を妥当と認める。			
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等 長崎市恐竜博物館が令和3年10月にオープンし、長崎南環状線供用後に利用者数の増加が見込まれる。			
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地取得率約91%、事業進捗率約34%			
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 今年度よりトンネル工事に着手。			
施設の構造や工法の変更等 建設発生土について、他事業への土砂流用によるコスト縮減を図っている。			
対応方針 事業継続			
対応方針決定の理由 事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。			

事業概要図



標準断面図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。